



館報 まつかわ

松川町公民館報
第724号
令和6年3月15日

町の川 ⑤ 中井 (北名子)

松川の魅力 新発見!



話題提供者



松下 武史 さん

2018年に生田の梅松苑の指定管理人を受け、キャンプ場・グランピングなどの運営や松茸シーズンでの松茸採りや販売を行っています。

話題提供者



長岡 誠 さん

東京都生まれで、都の中学校教員を経て退職後の2年前松川町に移住。現在、生田の準備と一軒家で生活しています。

司会者



松尾アトム前派出所 さん

今回の司会・進行は町内でリング農家を営みながら、お笑い芸人をされている松尾さん。

地元の松川町と東京を行き来され、お笑い芸人とりんご農家の二刀流生活をされています。

持ち前のトーク力で話題提供者の皆さんのお話を引き出させていただきました。参加された皆さんへも声が掛けられ、会場全体が大きな笑いに包まれました。

し出荷。畑ではトウモロコシ、枝豆、落花生などを作り、干し柿も直売所に出しています。これまで音楽とスポーツにはまり、今はシニアソフトボールにどっぷり。
地元の「生田松茸」のブランド化で、もつと人を呼びたい。

楽しい事をするのが大好きで昨年はリバッテリーウォーク（輸入車・国産車販売、車両のカスタマイズ全般）の花火大会を開催し多くのみなさんに来ていただきました。
趣味の釣りやゴルフを楽しむみながら、「生田松茸」のブランド化など町の魅力を発信していきたい!

話題提供者



平柳 智子 さん

永沢 佳 さん

話題提供者



小林 昭広 さん

東京都生まれで三重県育ち。現在は生東地区に住み、自然の中での暮らしや子育て

を楽しんでいます。
滞在交流プログラムの企画運営を行い、地域資源の発信や子どもへの自然体験提供の活動をしています。

あそびの楽校まつかわ
サマーキャンプinまつかわ
森林セラピーガイド
サイクリングガイド 等

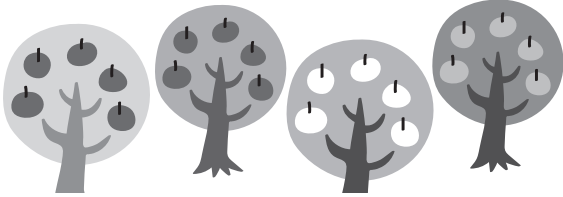
他にもニコニコファシリ

テーション事務所代表として、人と自然をつなぐガイドやワークショップの企画運営などを行い、町のみなさまと関わらせていただきます。
松川町は住んでよし訪れてよしの町です!

大学時代の出会いが縁で女子2人の松川町共同生活中。念願だったセルフビルドに取り組み、土地確保のため竹の切り出しをしている最中です。鋸で気長な作業ですがそれも楽しみ。2人の共通の趣味は音楽で、いつか皆さんに聞いてもらえると良いなと思っています。
近くの方々に助けられてからの生活を楽しんでいます。
軽トラックと砂利が欲しいので情報ください。

第59回 公民館研究集会

今こそ 再発見!



人と人の
つながりが
温かい

松川の方は
松川愛が強い

一人ひとりが思う魅力とは?
〜ワールドカフェ〜



情報発信
プラスアルファが
必要

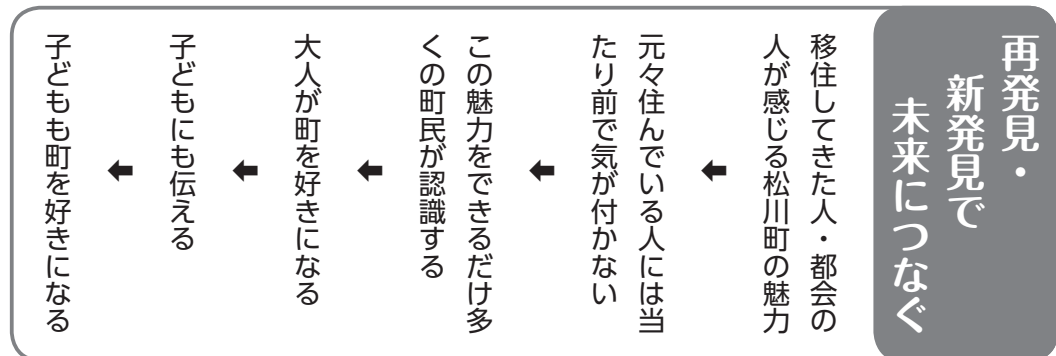
人の魅力
を大事にしたい

“何もない”けど
生活には
困らない

当たり前が
当たり前ではない
ことを再確認

参加者が少人数にわかれて話しあうワールドカフェではそれぞれが思う松川町の魅力を出しあいます。
ここでは出産・子育て・教育・仕事・近所づきあい・交通など、課題となる部分につ

いても多くの意見が出されました。
しかし、話題提供によって多くの魅力があることを再確認したことで、松川町への思いを強くする場にもなり、さまざまな魅力が語られました。



ワールドカフェで話し合われた内容は次号でも紹介させていただく予定です。

第41回福祉を考える集会 令和6年2月17日(土)
みんないっしょになかよく
 ～これも地域共生社会？～

福祉を考える集会は、様々な立場の人達が一堂に会し、それぞれの活動や思いや悩み、問題点を出し合って、お互いに理解しあい、みんなの力で支えあって、共に暮らしていけるような地域社会のあり方を考え、実践しようとする集会です。コロナ禍により、チャネルユーでの活動報告を行うなどをしていましたが、2019年以来実に4年ぶりに本来の形での開催となりました。

今年テーマである**地域共生社会**ってご存じですか？

地域共生社会とは、制度・分野ごとの縦割りや支え手受け手という関係を越えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代を越えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をもとに創っていく社会をさします。なんだか難しいですね。今回行われた事例発表や、グループでの話し合いの中から、そのヒントを探ってみましょう。

事例発表 (抜粋)

私たちにできる
 小さな活動

北小学校代表委員 ペットボトルキャップあつめ
 福祉を考える会のペットボトルキャップあつめに、昨年



「みんなで仲良く」を实践するおばちゃんと中学生の交流

福祉を考える会
 とあるおばちゃんと中学生の交流のお話。通学時、折々に声掛けを行っていく中で、

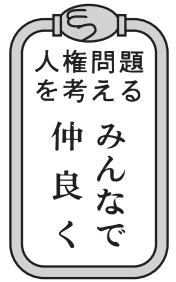
度から協力されている北小学校の代表委員の方々へのインタビュー動画を上映。「町の人達と直接関わることとはなかったけれど、一つのことに対して、町全体が協力して成し遂げられる、そしてその輪に加わることが出来、つながった、ひとつになれたと感じた。」といった感想が述べられました。

「ボランティアも高齢化で後継者不足。学生の活動が心強い。」
 「北小の子どもたちの成長が素晴らしい。」
 「今の担い手も何かきっかけがあったはず。今携わってくれている小さな芽を大切にしていきたい。」
 「仕事の多様化、日常が忙しい。それぞれのタイミングでできるときに難しく考えずできることからという気持ちが大事。」
 「ボランティアも結果を意識せず、気楽に始める、気楽に参加するという意識。隣近所に声をかける、通学する子ども

グループでの話し合い



つながり生まれていきます。その中学生は転校することになります。ある日、おばちゃんの家立ち寄り、進学のことや部活のことなど、いろいろ話をしていきました。携帯の連絡先も交換し、自分のやっていたことは間違いはなかったとよるこんでいたようです。
 「みんなで仲良く」の鍵は、声掛けにあり、その実践となる事例として紹介されました。
 どうでしたか？地域共生社会についてイメージができたでしょうか。
 ボランティアセンターの方からは、「相手を思う気持ちからつながりが生まれ、地域共生社会の実現に結ばれています。」との言葉もありました。
 福祉と聞くと、難しそうなイメージもありますが、何をやるかよりも、相手を思いやる気持ちこそがなにより重要なのだと感じた集会となりました。



松川中央小学校

【友だち俳句】

☆友達は
みんながステキで
できるんだ
(真遥)

☆きのうの子
試合が終われば
友だちだ
(新)

☆勇気だし
話かければ
お友達
(神桜)

☆学校で
仲良し王に
おれはなる!
(泰芽)

☆おともだち
一人じゃないよ
いっしょだよ
(ひまり)

☆さそい合い
みんななかよく
輪になるぞ
(竜吾)

☆一人より
みんなであそぶと
楽しいよ
(颯太)

☆一步二歩
友達レベル
マックスだ!
(のぞみ)

☆手をつなぎ
ルンルンと
さんぽする
(結陽)

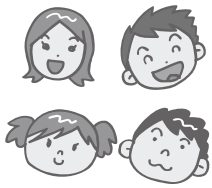
☆手をつなぎ
円をつくって
みんなの和
(千惶)

☆お散歩で
あいさつすると
なかよしだ
(雄星)

☆けんかなし
みんな仲良し
最高だ
(華音)

☆おもしろく
みんなで遊ぶ
うれしいな
(美桜)

☆輪になって
みんな仲よく
友達だ
(いろは)



カッピン・ワン・オンCUP
第1回 松川町にぎわいチャンピオンCUP
2月17日(土)
町民体育館

2〜3mほど先のカップに
ボールを転がし、カッピン
を競うスポーツ。それがカッ
ピン・ワンです。
このスポーツは部奈在住の
古平光市さんが3年ほど前に
考案した新しいスポーツで、
小さな子どもから高齢者、車
イスの方も一緒に楽しめるの
が特長です。
このカッピン・ワンの「松
川町にぎわいチャンピオンC
UP」が初めて開催され、子
どもから高齢者まで50人ほど
が参加しました。
ボールは4色あり、赤1



点、黄2点、白3点、青4点
と、色によって点数が違いま
す。
ボールを転がしてカップに
入れるという、一見単純に見
えるこのスポーツ。カップ手
前にはゆるやかな上りの傾斜
があり、意外とカッピンす
るのが難しいのです。そのた
めカッピンしてもしなくて
も会場は盛り上がってしま
した。
考案者の古平さんは東京出
身で、退職後、奥さんのクラ
スメイトが近くに住んでいる
部奈に奥さんとともに移住し

ました。そして近所の人たち
と早くお付き合いをしたいと
思い立ったのが、東京時代
にやっていたアンダーゴル
フというスポーツでした。こ
のアンダーゴルフの道具を使
い、さらに簡単にできるよう
に考えたのが、1回のスロー
でカッピンする「カッピ
ン・ワン」です。
古平さんは、カッピン・
ワンがさらに普及するよう
と日々取り組まれています。
今回の大会を終え古平さん
は「カッピン・ワンの特長
である、子どもから高齢者ま
でがまさに一緒に楽しめた。
これから広まっていくという
自信めいたものが出てきた」
と喜びを表しています。

優勝	古平邦子	29点
準優勝	井澤弘幸	25点
3位	下平正明	19点
パーフェクト 予選・決勝の 合計	井澤弘幸	(3回)
	林秀人	(1回)
	古平邦子	(5回)
	荒井晴琉	(1回)
	唐澤秀樹	(1回)
	井澤眞知子	(1回)
	饗庭かほり	(1回)

カッピンワンについては館報第718号(令和5年9月号)8面でも紹介しています!



スポーツ

松川ジュニアサッカークラブ
2023 JFA U-12 長野県サッカー
南信4部リーグ優勝!



松川ジュニアサッカークラブが、JFA U-12長野県サッカー南信リーグ2023後期4部で優勝しました。U-12では、これまで下伊那地区でリーグ戦を行っていましたが、昨年からは南信地区に範囲を広げ、リーグ戦を行っています。

力を見せつけました。「子どもが笑いながらサッカーをできること」をモットーに、大人も子供もベンチが笑い、選手が笑うチーム。楽しいだけでなく、強いチームなのはすごいですね！



第51回
地区対抗冬季弓道大会
(2/12)

○団体戦
優勝チーム
名子

(小沢誠、後藤誠、笠原武明)

準優勝チーム

上新井
(大藏壽春、野島ケビン、福澤隆夫)

3位チーム
上片桐

(中島綾音、森岡眞理子、小林聖)

○個人戦

優勝 片桐 美咲(上片桐)

準優勝 野島ケビン(上新井)

3位 笠原 武明(名子)

4位 小林 聖(上片桐)

5位 福澤 隆夫(上新井)

○射撃賞

福澤 隆夫(上新井)

令和5年度

自治会対抗卓球大会
(2/18)

1位 北垣外

2位 下垣外北部

3位 下垣外西部A

4位 宗原原

お知らせ

R6.4.1~

管理方法の変更に伴い

名子原体育館の
鍵の開け閉めは
利用者で行って
いただきます。

●体育館運営継続の為、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

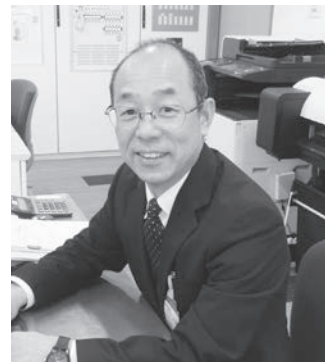
管理方法の変更に伴い、4月1日から下記がカギ保管場所となります。



お問合せ：松川町中央公民館
☎0265-36-2622



2年間お世話になりました 生涯学習課長 高根竜二さん



令和4年度から生涯学習課

長として勤務されている員の高根竜二さん。この度3月末をもちまして、2年間の出向期間が終了し、生涯学習課長を離任されることになりました。この2年間の思い出をお伺いしました。

高根課長は県庁職員や高等学校事務職員などを歴任され、松川町役場に出向となりました。町役場への出向は初めてとのことで、不安があったのですが、「楽しく」「自分らしく」を心がけ職務に取り組まれたそうです。

印象に残っている事業についてお伺いしました。

ツツザキヤマジノギク保全活動についてお話ししていただきました。担当された保全地

では外来植物の侵入や自生地の出水、流失により何も育っていない状態だったそうです。地元の関係者や中学生と協力し、除草作業などの環境整備活動の回数を増やしたことで、観察会を行えるまで個体数の増加に繋げることができました。

また、新たな取り組みとして、保全活動の啓発のほり旗を制作し、ツツザキヤマジノギクのPRをされたそうです。のほり旗も、ただ制作し掲示するのではなく、制作したこともメディアに取り上げてもらったことで、さらなる話題づくりに繋げるなど工夫をされました。

このような話題づくりの工夫は他の事業でも展開され、女子ワールドカップ日本対コスタリカ戦のパブリックビューイングを開催されました。東京オリンピックに関連

した、コスタリカのホストタウン事業が終了し、交流の話題が希薄

化するなか、女子ワールドカップでコスタリカが日本と対戦することを知り、パブリックビューイングを企画し、開催に至ったそうです。この際も多くのメディアに発信し話題づくりに繋がられたそうです。

ただ聞いていただけでは終わってしまうことも、様々な媒体を使用し、何か話題に繋げることはできないか、そう思いながら日々、工夫をされてきたそうです。

他にも、男女共同参画事業のパープルライトアップ、小学生への本の読み聞かせボランティア活動など、この2年間の思い出をお話ししていただきました。

町の行政は県とは異なり、地域に近い立場にあり、生涯学習や公民館活動など、地域住民のみならずと一緒に活動できたことは他にはなく、この地域でしかできない良い経験ができましたと、お話ししていただきました。



北小学校 2年

*ちむんつに 木の葉ひっこし ついでこる

(橋本 すず)

*冬になつた みんなさむい 木もさむい

(柳原 はな)

*登校中 みんなハアハア 白いいき

(横山 航)

*つららたち しゃんでとつた 水みだい

(林 祐希)

*どんとやき だるまももえて 何もない

(小林 咲凜)

昭和のスナップ写真から (そり遊び)



昭和30年代のそり遊びの光景です。冬といえば田んぼで下駄スケート、雪が降ればそり遊び。そりはどれも手づくりで形もそれぞれ。底には竹を裂いて火であぶり曲げて取り付けていかに滑りやすいそりを作るか、足の角度を変え方向がコントロールできるもの、木のブレーキ付きなど自慢のそりで競い合うのが楽しい時代でした。



商店街



双葉保育園



上新井地区公民館

午前には大島保育園と上片桐保育園を、夜には希望のあった計18軒の家庭を回るといふハードスケジュール。外気が0度近くの中、赤鬼・緑鬼・おかめ・太鼓など7人ほどのチーム2班に分かれて回ります。ご家庭には事前にアンケートを行い、「やさしい」「こわい」や言ってもらいたいセリフなどを調査。「ご飯よく食べるよ」「Youtube

上大島地区公民館



瀧泉寺

御祈禱



かり見てるんじゃないぞ」弟に優しくしろよ」など。さらに子どもへの反応も呆然とする子どもから、泣き叫び鬼に約束を誓う子まで様々で鬼も本当に大変です。鬼を務め

かにかや

鬼は鯛を焼いたときの匂いが苦手とか。柗の枝に焼いたイワシの頭をさして玄関先に飾ったり、藁筒に榎の葉・鷹の爪・髪の毛などを、鬼のいやがるにおいがするとされるものを入れて玄関先でいぶし燃やします。榎の葉のばちばちはぜる音に、何とも言えないにおいと煙です。また障子紙を5cm四方に切りかにかやと書き玄関口や戸口など出入



た松尾崇文さん「今年初めて担当しましたが、子どもの反応もさまざまで難しいです。自分としては6点くらいの出来でしたが、ご家族の方々に喜んでいただけたのでよかったです。」地区公民館のみならず、本当にお疲れ様でした！



り口に貼ります。こうして一年の無病息災を願いました。

卒業章

卒業のシーズン。もう中年なのにテストが出来ない夢を、たまに見てしまいます。数学が苦手でした。

一方国語はよかったと思います。当時しょっちゅう業者の全国テストがありました。1番、3番、7番など、8000人位の中で大体10番以内でした。偏差値に一喜一憂して、数学が得意の友人もいましたが国語なら負けません。その偏差値は時には75をこえたりしました。

親は厳しく「お前は何をやってる始末...」

さて話は変わりますが、占いのパラメータで遊び心50%人脈30%知性20%と出て、自立心と行動力はナシ。食べる、歌う、話す、料理することなどに運があるようです。

四柱推命にハマり、今は見習いの占い師。他、シャンソンにもハマっています。

(細江毛玉)

公民館報

「まつかわ」

第724号

令和6年3月15日

発行所 松川町公民館

責任者 山崎 隆

編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@town.matsukawa.lg.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷株式会社

再生紙を使用しています。